

2019年度第10回理学系研究科・理学部環境安全管理室会議 議事要旨(案)

日時：2020年2月20日(木) 10時30分～

場所：理学部1号館東棟2階281号室(大会議室)

出席者：吉田、井上、伊藤、鳥居、酒井、八幡、左近、小林、半澤、戸澤、櫻井、眞田、草開、小高、難波、大澤、宗像、遠藤

議題

- I. 第9回理学系研究科・理学部環境安全管理室会議議事要旨(案) 確認 <別紙1>
前回の部局室会議の議事要旨について承認された。

II. 2019年度第11回環境安全管理室等会議報告(2020年2月17日開催)

1. 事故・災害報告について <別紙2・3>

環境安全管理室 吉田副室長より報告が行われた。

第11回室等会議で報告があった事故・災害は15件(休業4日以上2件、理学系の事例なし)。うち次の事故について紹介し、注意喚起がなされた。

<休業4日以上>

19232I: 飲酒後、徒歩で赤信号の横断歩道を渡った際、タクシーに衝突され、全身打撲等を負う。

19234I: 帰宅途中に自転車で転倒し救急車で病院へ搬送。脳出血があり緊急手術を行った。

<要注意喚起>

19210NI: 台車で試薬を運搬中、硫酸の試薬瓶を落とし路面に流出

業者による納品中の事例。薬品や廃液の運搬中の事故は毎年発生している。理学系での発生事例もあり。容器の固定やカゴ付台車を使うなど対策を。こぼれた場合は当室にすぐ連絡をすること。

19239H: X線発生装置により壁の非破壊検査を実施したところ、構内設置の放射線モニタリングポストの指示値が上昇し発報した。

専門業者が検査のためX線発生装置で照射したことによる事例。照射方向の建物内にいた者の被ばくはなかった。産業医より、作業前に周囲に与える影響を十分勘案するようコメントがあった。鳥居室員より、理学系での同装置の保有はないが、使うことがあれば、RI管理室に連絡するよう依頼があった。

19240NI: 液体窒素の汲み出し時に室内へ漏えい

自動汲み出し装置を使用していたが、容量の設定を誤って開始し、現場から離れた。戻ると液体窒素が漏えいし室内から冷気があふれていた。八幡室員より、理学系では、容器のバーコードを読んで開始するため容量の誤入力はなく、時間のかかる温度センサーではなく、重量モニターで重さで止まるようになっていないと説明がなされた。

以下2～8について環境安全管理室 井上主任より報告が行われた。

2. 安全衛生管理業務月報について <資料3>

1月分報告のうち、当部局で実施されたもの、職場巡視実施状況の紹介、当室の活動について:

- ・安全衛生教育について、着任時安全衛生教育が、物理学専攻(3名)、原子核科学研究センター(1名)、RI管理室による放射線取扱者講習会(28名)が実施された。
- ・作業環境管理実施状況について、管理区分2, 3の報告はなし。
- ・職場巡視実施状況より、「床に延長コードのケーブルが横ぎっていた」事例が紹介され、年度末の片づけの際には、電気系統にも留意して整理整頓を行うよう依頼があった。
- ・当室の活動として、2月は、化学西館の作業環境測定の実施、ダクトレスヒュームフード設置の打ち合わせ、安全マニュアルの改訂、廃棄試薬の回収が行われた。

3. 各地区安全衛生委員会議事要旨について <資料 4>
事業場ごとの安全衛生委員会議事要旨について、参考に。
4. 令和 2 年度産業医選任一覧及び産業医職場巡視予定について <資料 5>
昨年度からの変更点として、神岡地区が事業場となり、産業医の選任が必要となったこと、また、産業医職場巡視については、理学系本郷・浅野地区は昨年度同様山本先生が担当されることが説明された。
5. 実験用乾燥器の取扱いについて <資料 6>
昨年 10 月に本学にて発生した事故に基づき、消防署の指示により、学内に注意喚起された。
[2/19 理学系にて通知済]
6. 令和 2 年度本郷キャンパス春の自転車無料点検について <資料 7>
4 月以降ポスター等で詳細は案内するが、まずは実施日を通知する。学生の無料点検は 80 台。
7. 令和元年度防災懇談会報告 <資料 8>
毎年開催されている、防災に関して部局間での情報共有を目的とした会議。今年度は本部から災害時の情報発信等について、各部局からは緊急対応教職員や、自衛消防隊の見直し、e 防災マニュアルの利用などが報告された。
8. 災害対策本部の連絡先等について <資料 9>
内線 PHS の契約が今年 3 月に終了するに伴い、大学本部の災害対策本部の連絡先が変更となる。理学系の災害対策本部の連絡先のひとつである「内線 20274」は「070-3123-1835」に変更となる。ウェブサイト版の「防災行動マニュアル」は更新を行う。専攻や研究室でも変更が生じる場合は更新するよう、依頼された。
9. 災害時の情報発信について <資料 10>
大学本部は、ヤフーブログで災害時情報発信を行っていたが、サイトが閉じたのを機に、大学のウェブサイト、Facebook、Twitter にて実施することとなった。
10. 複数の部局等が入居する建物の環境安全衛生管理体制整備に関するガイドライン（案）
建物を複数部局や企業等が使用する状況に対するガイドラインについて、前回会議で提案されたものに対し意見をいただき、「案二版」が作成された。主な変更点は、関係の学内規則を明記したこと、建物の環境安全衛生管理を担当する「委員会等」を設置するのではなく、「組織」を整備するという記載としたことがあげられる。ご意見があれば、理学系では、まずは当室まで連絡するよう依頼があった。
11. その他
- 1) 新型コロナウイルス対応 [中国から帰国した学生・教職員への対応の流れ] <資料 11>
保健・健康推進本部より、ポータルにて通知を行っている。状況は変化しているので、情報収集をするよう説明があった。

Ⅲ. 学部内報告および審議事項

1. 事故・災害報告について <別紙 4>

前会議以降、当部局であった事故について吉田副室長より報告がなされた。

19254F:校内を歩行中に石畳にヒールがひっかかり転倒した。(化学専攻)

唇や顎を切傷、打撲し、帰宅途中で病院に行った。労災申請あり。

19247I:棚からガロン瓶を取り出そうとして、他のガロン瓶にぶつけて割り、破片で切り傷を負った。(化学専攻)

東大病院の救急にて腱断裂と診断され、手術と入院が必要となった。棚の丈が低く出しにくかったのが背景と思われ、ガロン瓶を別の場所に移動した。

他部局にて事故報告:他部局教員が運転する車の後部座席に同乗中、車が前のトラックに追突し、抱えていた実験機材のケースに顎をぶつけた。(地球惑星科学専攻)

顎、舌、歯を負傷し、病院にかかった。労災申請あり。

19258F:海岸で乗船する際に岩肌で滑って転倒した。(臨海実験所)

海岸における野外生物調査中に、岩肌で滑って転び、手を岩で擦りむいた。手袋は、細かい作業をする際に外し、そのままとなっていた。

2. 産業医巡視について

・2020年度産業医巡視日程(案)

＜別紙5＞

吉田副室長より、来年度の産業医巡視日程において、研究科長パトロールを2号館2階を対象に行うこととし、それに伴い巡視場所の配分をいくつか見直していること、説明された。酒井室員より、巡視において、天井のカビを確認してほしいと依頼があった。

3. 野外における教育研究活動安全衛生管理計画書一覧（1月提出分）

＜別紙6＞

1月に提出された「安全衛生管理計画」(野外活動計画)について、井上主任より報告された。

4. 共通講義室のヘルメットについて

執行部会議の議論の結果、各講義室座席数の4割程度の数を配置する案が採用されたこと、吉田副室長より説明があった。年度内に設置する予定である。

5. 2020年度安全マニュアル（和英版）必要部数照会

来年度の安全衛生教育に向けた安全マニュアルについて、井上主任より説明がなされた。

昨年度からの主な変更点は、

○安否確認サービスに関する内容を追加した

○指定避難場所について、2号館の二次避難場所を懐徳館から安田講堂エリアに変更した（懐徳館は鍵の管理等の問題で避難場所として不適切となったため。）

○英語についてネイティブチェックをかけ修正した。

八幡室員より、旧冊子保有者のために、変更点をまとめた別紙の要望があり、了解された。

5. その他

・理学系研究科・理学部における新型コロナウイルス等の感染症予防への対応について

理学系での対応として、部局として通知が出ていること、また、手指消毒用アルコールの配付を、建物入口、エレベータ前、事務室等を対象に行うこと、吉田副室長より説明された。

次回（2019年度第11回）環境安全管理室会議は、2020年3月30日（月）10:30～

※ 全学環境安全管理室等会議は、2020年3月16日（月）13:30～